

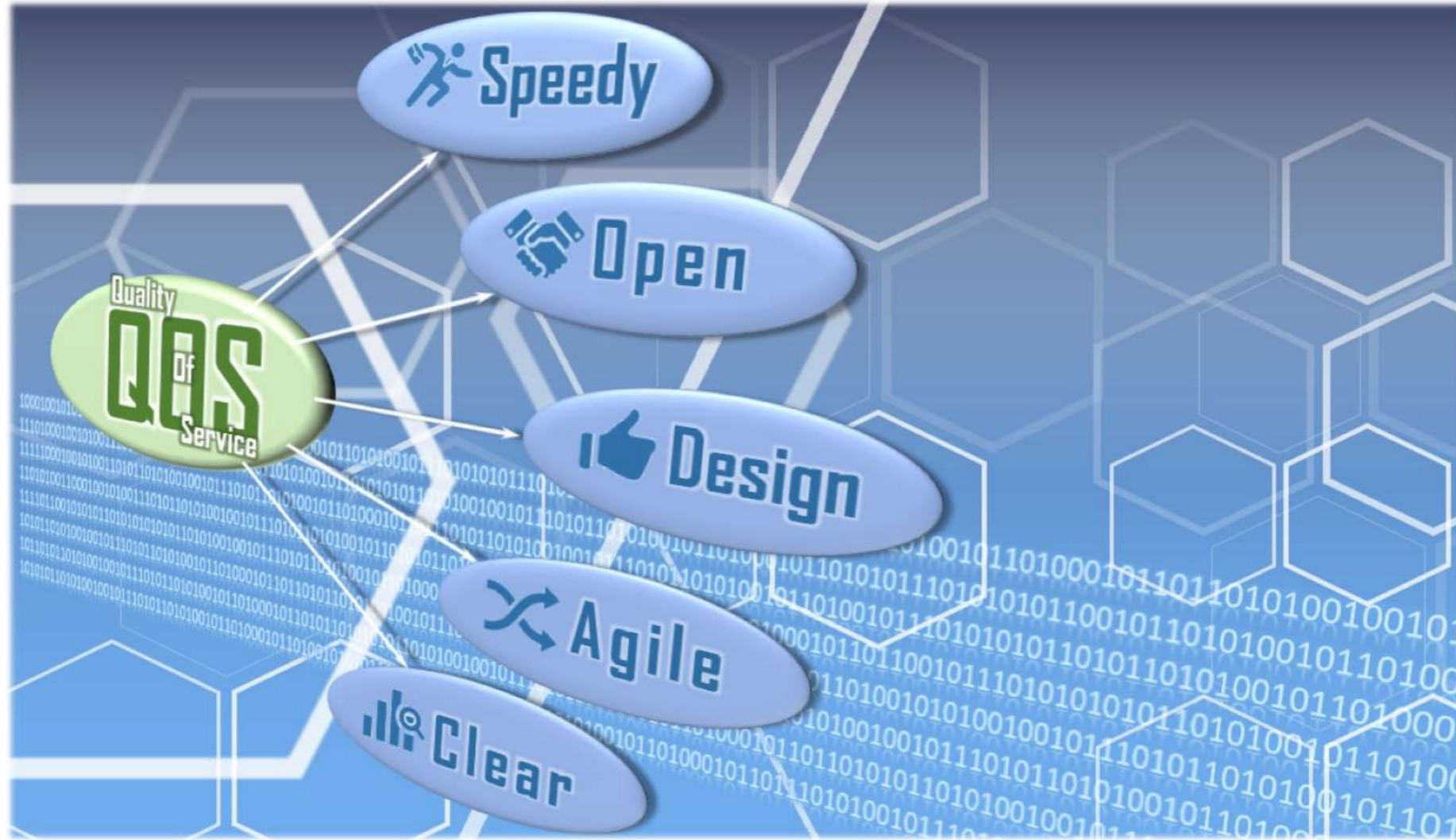
スタートアップ企業等の参入機会の 拡大に係る東京都の取組

東京都デジタルサービス局
デジタル改革担当部長 卷嶋 國雄

本日のアジェンダ

1. スタートアップとの協働の取組と事例
～シン・トセイー都政の構造改革の実践～
2. 今後の東京都のスタートアップ戦略

1. スタートアップとの協働の取組と事例 ～シン・トセイー都政の構造改革の実践～



シン・トセイ

都政の構造改革QOSアップグレード戦略

令和3(2021)年3月～

2025年度の到達目標 ～デジタルガバメント・都庁の基盤を構築～

7つのコア・プロジェクト

デジタルシフト

行政手続のデジタル化

- 主要169手続（許認可等の98%）のデジタル化を**実現**
- スマートフォン申請の**拡大**

5つのレスの推進

- ペーパーレスによる業務遂行が**定着**
- FAXレス**実現済**
- はんこレスによる電子決定率**100%**、デジタル化による押印廃止**完了**
- 全都立施設のキャッシュレス化を**完了**
- タッチレス（非接触、非対面）の行政サービスの**浸透**

未来型オフィスへの転換

- オフィス環境の整備により生まれた新たな働き方を**全職場へ浸透**
- システム基盤の更新によるクラウド化（SaaS利用）を**全面展開**

デジタルガバメントへと進化し、
都政のQOSを飛躍的に向上

DX推進体制の構築

内部事務のデジタル化

- 総務事務センターによる給与・旅費等事務の**集約完了**
- 契約・支出関連事務の一連のデータを連携させるシステムを**構築**

オープンガバメント

オープンデータの徹底活用

- オープンデータを**都庁全体へ浸透**
- オープンデータの活用により、民間企業等が**新たなサービスを創出**

スタートアップ・シビックテックとの協働

- スタートアップ・シビックテックと東京都の**強固な協働スタイルの構築**
- 協働のムーブメントを**官民双方へ浸透**

組織・人材マネジメントの変革

- デジタルサービス局の体制を**拡充**、デジタル人材を**確保・育成**
- DX推進体制の構築を梃子として**組織・人材マネジメントを変革**

各局リーディング・プロジェクト

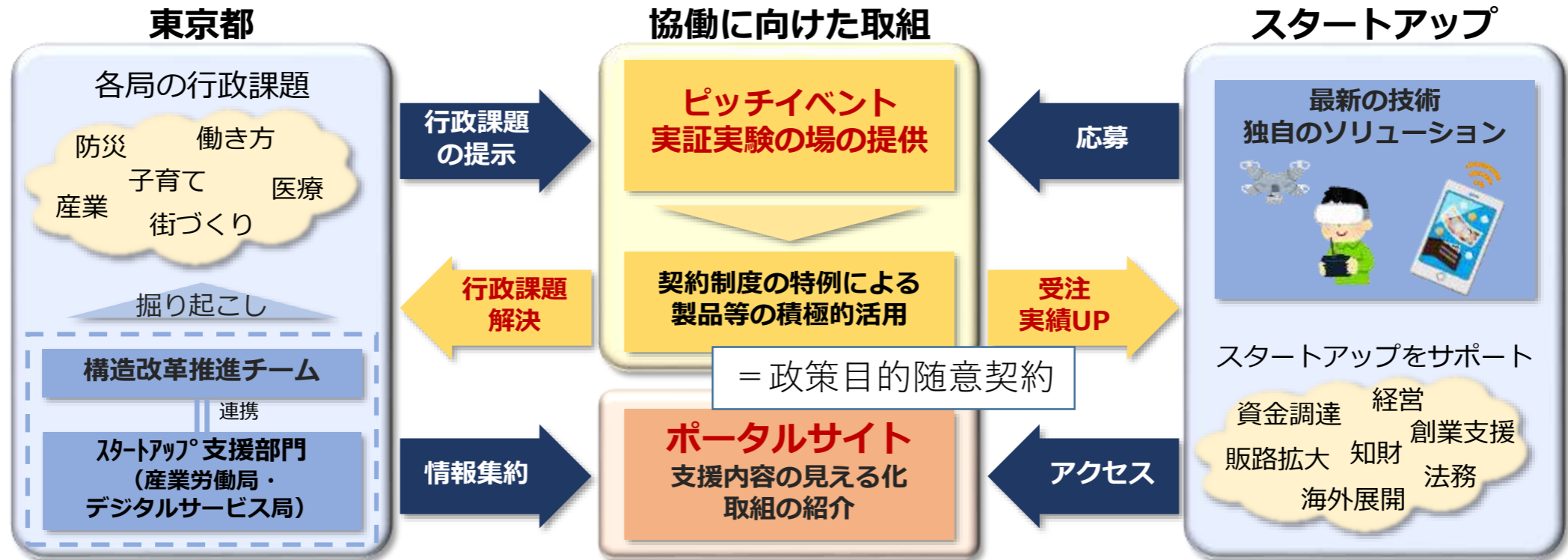
- 各局事業のサービス提供のあり方や、仕事の進め方そのものの構造改革を進めることで、「新しい都政のスタンダード」が都庁全体に**浸透**

Project 5

スタートアップ・シビックテックとの協働推進プロジェクト

東京都とスタートアップの協働の実践を積み重ね、強固な協働スタイルを構築

- スタートアップと行政、相互の理解を深めて実践を積み重ねることで、多様化する行政課題の解決につなげていく **強固な協働スタイルを構築**し、都政のQOSを高めていきます。
- 過去の実績等を重視した協働から、課題解決に資する技術等に焦点を当てた協働へと転換し、スタートアップを都政課題の解決に向けたファーストチョイスとするため、都庁自らの意識改革を進めます。また、スタートアップとの協働の実践を通じ、よりスムーズに連携が可能となる仕組みや制度の検討につなげていきます。
- 都が展開している**スタートアップ支援策を一元的に発信**していくほか、行政課題や都政現場とのマッチングを図るなど、スタートアップ支援拠点「TOKYO UPGRADE SQUARE」を核に、**スタートアップから都政へのアクセシビリティを向上**させていきます。



官民協働の実践及びスタートアップ協働戦略の策定

協働の成功体験を蓄積するべく、官民協働による行政課題解決に向けた実践を積み重ねています
さらなる協働スタイルの実現に向けて、スタートアップ協働戦略を策定し推進します

官民協働の実践

スタートアップによる
ピッチイベント

UPGRADE with TOKYO



UPGRADE
with
TOKYO

計 20 回開催

都政現場での協働
キングサーモン
プロジェクト



都政現場での
活用開始

スタートアップ支援拠点
TOKYO
UPGRADE SQUARE



TOKYO
UPGRADE
SQUARE

2021.1
開設

協働による行政課題のソリューションを
「成功体験」として蓄積

スタートアップ協働戦略

都と民間との新たな協働スタイルを
戦略的に構築

NEW

2022.2

スタートアップとの更なる協働に向けて
スタートアップ協働戦略ver.1.0に基づき協働を深化

<協働戦略の柱>

- 戦略1 様々な協働の取組を更に推進
- 戦略2 協働の取組を支える仕組みを構築
- 戦略3 スタートアップと都職員とのコミュニケーションを深化

スタートアップ協働戦略 ver.1.0
～スタートアップと東京都で「未来の東京」を共創する～

START UP

2022年2月
スタートアップ協働戦略プロジェクトチーム

ピッチイベント（行政課題解決型スタートアップ支援事業）（2019.12～）

- 都政課題の解決に資する製品・サービスを提供するスタートアップによるピッチイベントを開催
- ピッチ登壇社（原則優勝社）のうち都政課題の解決に資すると認められたスタートアップの製品・サービスを認定



スマートフォンとQRコードを用いた座席・備品管理システム「Mamoru Biz」



位置情報と連動したオンラインマッププラットフォーム「Stroly」を観光振興に活用

テーマ設定

- ✓ 所管部署と産業労働局が協議し、テーマを設定

(テーマの例)

- 自動車利用の抑制
- 高齢者にとってスマホが便利で身近なもの

参加企業募集

【応募条件】

- 創業後**10年未満**
又は第二創業後**10年未満**
- 応募テーマに合致した製品・サービスを有し、**最新バージョンをリリースしてから5年以内**であること など

書類審査 プレピッチ

- ✓ ピッチイベントの登壇社選出（5社程度）

ピッチイベント

- ✓ スタートアップによるピッチ
- ✓ テーマ所管部署及び外部委員が審査委員としてピッチを審査

認定申請

- ✓ 登壇社（原則優勝社）がピッチイベントで発表した製品等が行政課題の解決に資すると認められた場合は、認定の対象

認定審査

- ✓ **2名以上の学識経験者**から、実施計画書が法定要件に該当しているか意見を聴取

認定

- ✓ 認定の通知をした日から**2年後の年度末まで有効**

各職場へ周知

【実績】 2022.9月末時点

認定：**12**件 発注：**7**件

事業概要

行政

テーマを
提示



第20回の例
最先端技術を活用した、「する」「みる」
「支える」スポーツの新たなサービス



スタートアップ



解決策を提案

行政が提示したテーマに取り組むスタートアップを
ピッチイベントでマッチング

参加メリット

- ✓ スタートアップと**随意契約**ができる**認定制度**を用意
 - ▶ 事業で活用したいスタートアップを見つけられれば、最長3年間、そのスタートアップを随意契約で活用可能
- ✓ スタートアップとの**協働予算**は、**産労局**が措置
 - ▶ 年度途中でも実施可能
 - ▶ 予算の検討のための**試行**として位置付け可能

株式会社Stroly

(第1回ピッチイベント「VR、AR、5G、ビッグデータ、AI等の最先端技術を活用して行う取組」 優勝企業)

認定サービス：Stroly (ストローリー)

Strolyの概要

- Strolyは、エリアブランディングに効果的なイラストマップを、位置情報と連動させてデジタル化する投稿型プラットフォームで、アプリ不要でWeb上で利用できる。
- 投稿されたデジタルマップ上では、エリアのおすすめスポットを紹介する「スポット機能」や「チャット機能」「スタンプラリー開催機能」など多彩な機能を提供
- 投稿者は、地域の魅力をStrolyデジタルマップで手軽に発信できる上、実際にユーザーが訪れたエリアのヒートマップを管理画面からいつでも確認できる。

都での実績

- 都は、株式会社Strolyの技術を活用し、新宿区内の観光デジタルマップによる取組を実施
- この取組では、訪都旅行者にデジタルマップのスタンプラリー機能を活用していただき、マップ内の周遊に関する検証を行う。都内観光関連事業者によるマーケティング等に活用いただくよう、利用状況等のデータを公開予定



- ✓ 観光スポット等をめぐるスタンプラリーを楽しめるマップを公開
- ✓ 史跡や寺社などの歴史関係の観光スポットとともに、飲食店や歩いた後の疲れを癒す銭湯の情報などを多数掲載。街歩き等に活用
- ✓ この取組により、都はデジタルマップの利用状況等のデータを、個人を特定できない形で収集

株式会社Colorkrew

(第4回ピッチイベント「ウイズコロナ社会における「新しい日常」の定着を目指して
～都庁の働き方改革～」優勝企業)

認定サービス：MamoruBiz (マモルビズ)

◆ MamoruBizのイメージ

▼ 座席に設置された二次元コードをスマホで読み取り

▼ テレワークや外出等、出勤状況をアプリで登録



▲ 座席位置や出勤状況（在席/テレワーク）をリアルタイムで反映

◆ MamoruBizの特徴

他競合サービスと比べて、新しい働き方を推進するための要件に即した利用が可能

MamoruBizの主な機能	他の競合サービス
QRコードの読取だけで座席の登録が可能 (事前予約不要、出勤してQRコードを読み取るだけ)	座席の予約が前提となっていることが多い (事前の座席予約と出勤時の登録がセット)
座席位置だけでなく、テレワークや外出中などの出勤以外の勤務状況も画面上に表示可能	出勤している職員の座席位置を示すものが多い
備品管理といった業務効率化に資する他機能も実装	座席管理に特化したものが多い

◆ 都での実績（利用人数）

R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度
約230名	約2,225名 ※ 年度末見込

公共調達の実施②



KING SALMON PROJECT

キングサーモンプロジェクト（都政現場での協働事業）（2019.4～）

- ・ 公募・選定したスタートアップに対し、先端プロダクトを実装するためのフィールドとして都政現場を提供し、協働を実施
- ・ 協働の結果、社会課題の解決に資すると認められるプロダクト、サービスを認定



腰への負担を軽減するマッスルスーツ
都の福祉現場（日野療護園）にて協働実施



CTスキャン画像のVR、Mixed Reality化
都立病院にて協働実施

協働テーマ・フィールドの設定

- ✓ 現場部局と連携して、**協働テーマを設定**
- (テーマの例)
- ・ 福祉施設等におけるロボットやウェアラブル端末を活用した看護・介護支援
 - ・ 都立病院におけるICTの積極的活用

参加企業募集

- 【応募条件】
- ・ 東京都内の企業
 - ・ **創業から20年未満の者**
- ※みなし大企業等は除く

書類審査 プレゼン審査

都政現場への 実装・協働

- ✓ プロジェクトに採択された事業者のプロダクト・サービスを、フィールドとなる都政現場で実装し協働

認定申請

- ✓ 協働の結果、**都政課題の解決に資すると認められた者が認定の対象**

認定審査

- ✓ **2名以上の学識経験者**から、実施計画書が法定要件に該当しているか**意見を聴取**

認定

- ✓ 認定の通知をした日から**3年後の年度末まで有効**

各職場に周知

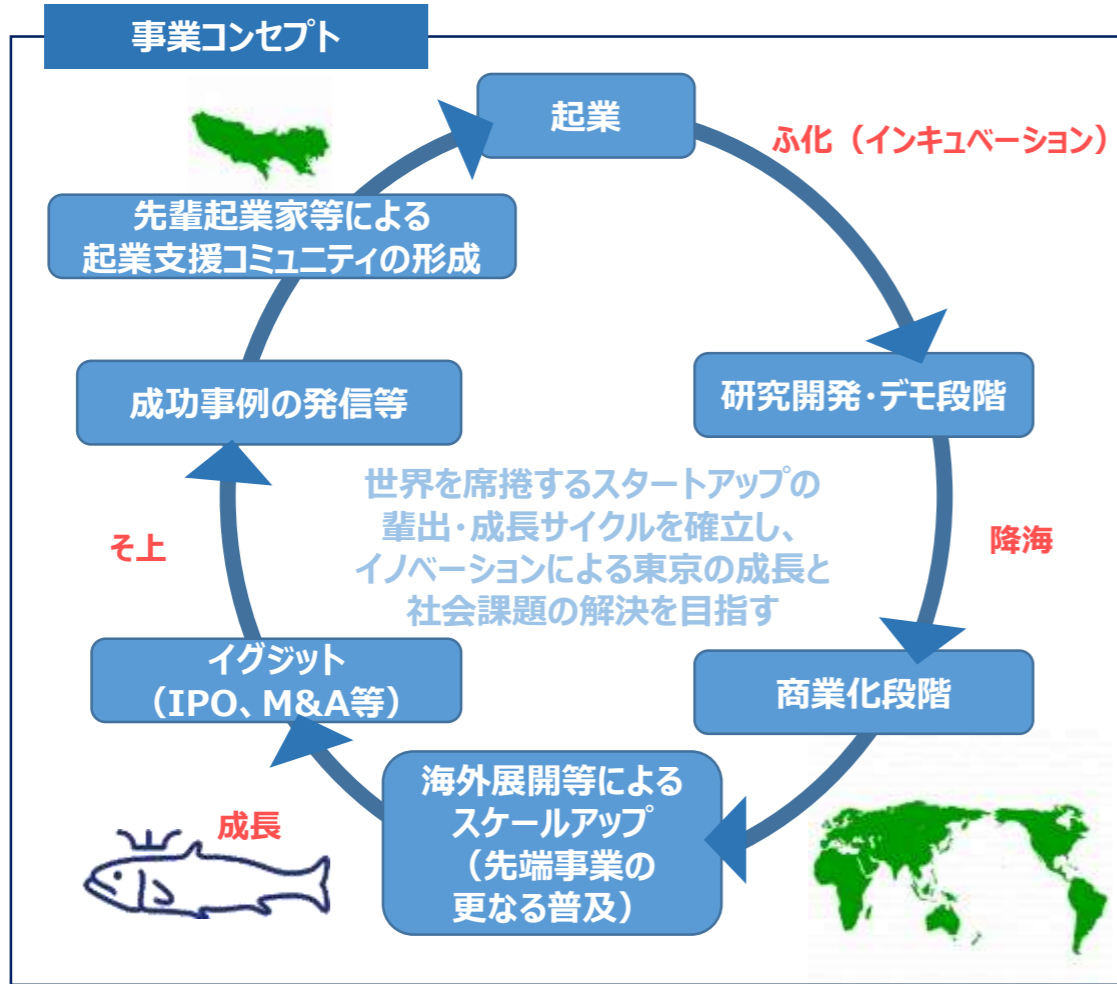
- ✓ 協働の結果とともに周知し、各現場での活用を図る

【実績】 2022.8月末時点

認定: **4**件 導入: **10**件

キングサーモンプロジェクト・事業概要

～スタートアップのプロジェクト活用で都政課題の解決につなげます～



目指すアウトプット

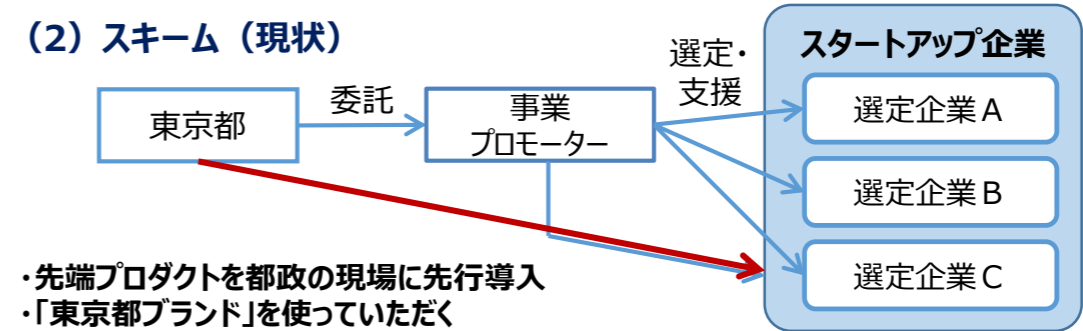
- ▶ 「**キングサーモン企業**」…社会課題の解決に資する先端事業を東京から世界に普及させて急成長し、成熟都市東京の一翼を担うとともに、後続のベンチャー精神に燃える人にとって**グローバルスタートアップのロールモデル**となるような企業
- ▶ 本事業では、このような「キングサーモン企業」を、**各ターム3社**輩出されるよう協働を実施

事業概要

(1) 実施内容

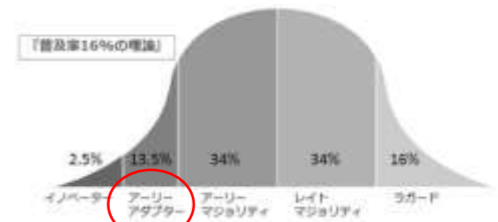
- ・将来大きく成長することが期待できるスタートアップ企業を**1ターム3社程度**選定
- ・都政の現場を活用し、**社会課題解決に向けた技術やサービスの実証**を実施
- ・国内外への販路拡大に向けた戦略を立案 (「東京都」印でのサポート効果)
- ・取組の過程や成果をモデル化し、**広く展開**することで、後続の起業家を輩出

(2) スキーム (現状)



「普及率16%の理論」…アーリー・アダプターまでの普及 (全体の16%) が以下の層への広がり重要なポイントとされている。
⇒ **東京都がアーリー・アダプターの役割を担い**、スタートアップ企業の知名度向上・実績づくりに貢献できることを期待

M.ロジャース「普及率モデル」



(3) スケジュール (第3ターム) (予定)

令和4年度		令和5年度	
都政課題とスタートアップ企業のマッチング (調査)	企業公募	都政現場での先行導入 (アーリー・アダプターの役割)	成功モデルの水平展開
都政現場での活用に向けた庁内調整、予算措置		トップセールスによる販路拡大支援	公共調達促進

キングサーモンプロジェクト・事業概要

～スタートアップのプロジェクト活用で都政課題の解決につなげます～

第1ターム実施テーマ（2020年度先行導入PJ）

テーマ	ロボットやウェアラブル機器を活用した 看護・介護支援		都立病院におけるICTの積 極活用	東京国際クルーズ ターミナル開業の機を捉え たインバウンド観光振興
都政現場 (実証現場)	福祉施設 (東京都社会福祉事業団 : 日野療護園)	都立病院 (墨東病院・広尾病院)	都立病院 (墨東病院、 多摩総合医療センター)	東京国際クルーズターミナル *コロナにより2021年度に実施
スタートアップ 企業 (プロダクト)	株式会社 イノフィス (①every)	トリプル・ダブリュー・ジャパン 株式会社 (②DFree)	Holoeyes 株式会社 (③Holoeyes MD・VS)	Wamazing 株式会社 (④インバウンドサービス)
プロダクト・ サービスの概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 人工筋肉を活用した腰補助用のアシストスーツ。 ● 電気を一切使わず、空気圧式の人工筋肉に手動ポンプで空気を装填することにより稼働。  	<ul style="list-style-type: none"> ● 超音波技術を活用し、リアルタイムで膀胱内の尿の溜まり具合を計測する排泄予測ウェアラブルデバイス。 ● 排尿のタイミングを事前にスマートデバイス等に通知。  	<ul style="list-style-type: none"> ● CTやMRIから生成した3DデータをVR化して、手術の趣味レーション、トレーニング等へ活用可能なサービス。 ● エンジニアを必要とせず簡単にVRアプリ化が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人旅行者向けの無料SIMカード及び観光・買い物用アプリ。 ● 訪日観光客の行動データや購買データ等を分析し、経済効果を可視化。 ● 日本初の免税ロッカーを活用したECサービス等  
調達実績 (R4.9.1時点)	福祉施設 3 か所 (28台) 都立高校 2 校 (24台) 導入	都立病院 3 か所 (23式) 導入	都立病院 2 か所 (2式) 導入	コロナに伴い令和3年度に実証を延期。令和4年度内での本格導入に向けて調整中

キングサーモンプロジェクト・事業概要 ～スタートアップのプロジェクト活用で都政課題の解決につなげます～

今後の予定・第2ターム実施予定テーマ（2022年度先行導入PJ）

まちづくり、教育、農業の現場で 都とスタートアップが協働して課題解決を

まちづくり×XR
都市整備局

（株）Psychic VR Lab



- VR等を活用した魅力的なバーチャルコンテンツで東京の魅力を発信

教育×XR
田無工業高校（建築科）

（株）エドガ



- 危険現場等、学校で体験できないような実践的な実習をVR等で実現

農業×遠隔ロボット
大島高校（農林科）

GINZAFARM（株）



- ロボットを活用し、広大な農場の管理の省力化・高度化を実現

公共調達取組③



東京都
Tokyo Innovative Recognition and Trial Purchase Program

トライアル

発注認定制度

東京都トライアル発注認定制度 (2009.4~)

- 都内中小企業者の新規性の高い優れた新商品等の普及を支援するため、新規性や独自性を基に認定
- 認定した商品等については、産業交流展や都庁内でのパネル展示等でPRするとともに、一部を試験的に購入し評価



2021年度認定商品

認定申請

【応募条件】

- 東京都内の**中小企業者**
- **販売開始から5年以内**の物品等が対象

一次審査
(書類審査)

✓ 申請書等に基づき審査

二次審査
(面接・訪問審査)

- ✓ 一次審査を通過した申請事業者に対して、申請内容を質疑(面接審査)
- ✓ 面接審査の通過者に対し、生産等の実施方法、販売・資金計画等について訪問調査

最終審査

✓ 認定の可否について総合判定

認定

✓ 認定の通知をした日から**2年後の年度末まで有効**

各職場に周知

✓ 認定商品の一部は都の職場に試験的に導入し評価

【実績】 2022.9月末時点
認定:**250**件

株式会社Z-Works（認定年度 R2年度（新型コロナウイルス感染症緊急対策）） 認定商品：がんばらない介護を実現できる「ライブコネクト」

(認定番号) R2C2号 物品



要介護者や施設環境を一覧表示



センサーはマットレスの下に置くだけ

株式会社Z-Works



スマートフォンからでも確認できます

新商品の概要

ベッド・布団にセンサーを設置し、要介護者の就寝中の心拍・呼吸を検出します。身体に何もつけず、電源があれば動作し、離れた場所から安否や心拍数・呼吸数の確認が可能です。異常があると通知されます。

■電子看板で要介護者の状況を一括確認！

モニターを見るだけで、一目で状況が分かるシステムです。マウス・キーボードでの複雑な操作はありません。スマートフォンを活用すれば、どこでも安否確認・異常通知を受け取ることができます。

■身体に何もつけない非接触型のセンサー！

センサーは高齢者や患者の方の身体につける必要がなく、マットレスの下に置くだけです。睡眠中の安否確認のほか、心拍数・呼吸数・睡眠・覚醒も確認できます。離床するとすぐに通知する機能もあります。

■電源だけで動作！簡単設置！ネットワーク環境不要

ネットワーク環境がなくても導入が可能です。内蔵されたデータ通信機能で直接クラウドに接続するため、パソコンやサーバーなども要りません。工事の必要もほとんどなく、設備投資を抑えることができます。

想定される使用例・使用箇所

- ・特別養護老人ホームなど介護施設
- ・リハビリ病棟など病院
- ・新型コロナウイルス感染者用療養施設（自宅待機者宅・借り上げのホテルなど含む）

都実績

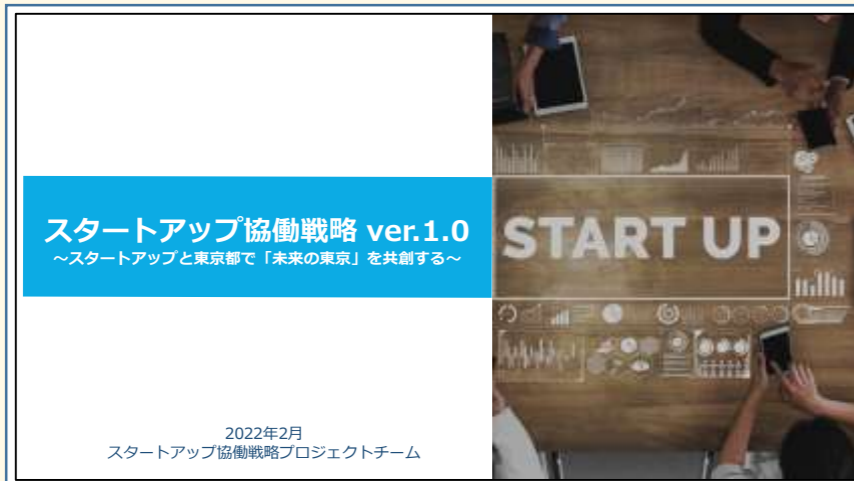
都立2病院にて利用

2. 今後の東京都のスタートアップ戦略

スタートアップとの協働を徹底的に強化します！

2022.2. スタートアップ協働戦略 ver.1.0 を策定

スタートアップ等約300社からアンケート・ヒアリング実施



協働の取組
を強化！

Tokyo with STARTUP

2022/8/26
Team Tokyo Innovation

都のスタートアップ施策の展開方針
「Tokyo with STARTUP」発表

本日

(2022.8.26)

時間

スタートアップとの協働は新たなステージへ

- **スタートアップ施策の一元的窓口（Team Tokyo Innovation）設置**

全体統括：宮坂副知事

サブ：スタートアップ戦略担当局長（新設）

庁内の力を結集、

ワンチームで徹底的に取り組む。



- **国内外のスタートアップが集まる拠点「CICTokyo」内に
都庁の「出島」となる事務所を開設**

職員を常駐、都庁自らスタートアップが集まる場所に出向き、

コミュニケーションを深める。「いつでも会える都庁」へ。

- **公共調達についても更なる拡大策を検討**

4つの“都政初”で東京都は変わります

● 「いつでも会える都庁」に

「西新宿に来てもらう」から「私たちから会いに行く」へ

● ワンチームで活動

「庁内各部署がバラバラに活動」から「“Team Tokyo Innovation”で活動」へ

● とともに考え、とともに創り、ともに分かち合う

「行政が考える」から「スタートアップと一緒に考える」へ

● スタートアップイベント開催

来年2月、1万人規模でグローバルに開催予定（City-Techイベント）

Tokyo with STARTUP ～取組の方向性～

コミュニケーションを深める

- オール東京都で“Team Tokyo Innovation”結成
- CIC Tokyo に「出島」を設置し、常駐
- 大学発スタートアップへの支援、企業、経済団体との連携を強化

成長を支える環境を整える

- 実証フィールドを提供し、公共調達を拡大
- 世界に打ち勝つための規制改革を促進
- イノベーションを起こす“場づくり”

世界を舞台にスタートアップと協働する

- City-Techイベントを開催
 - ・2023年2月27日(月),28日(火)・東京国際フォーラム
 - ・国内外のスタートアップ・企業・投資家・メディア等が参加
 - ・世界市場への展開や、世界の多様なプレイヤーと連携

アントレプレナーシップを育てる

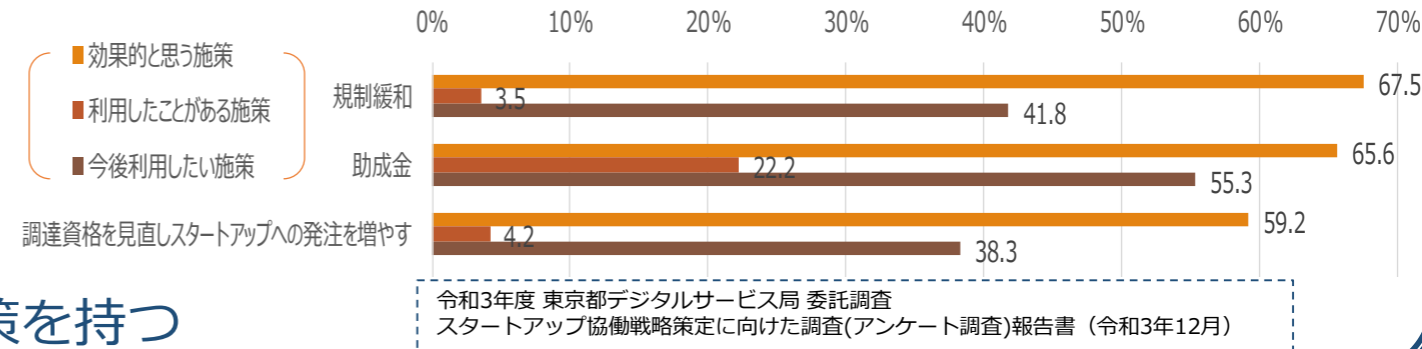
- 子供や若者に向けてアントレプレナーシップを浸透
- 大学の垣根を越えた交流を創出

成長を支える環境を整える

スタートアップや関係者からの意見

- 効果的と思う施策は**規制緩和・助成金・公共調達**
- 実用化・普及のため、**都の製品導入は非常に効果的**
- **規制緩和により海外都市は企業を呼び込んでいる**
- スタートアップの悩みは他のスタートアップが解決策を持つ

効果的と思う施策、利用したことがある施策、今後利用したい施策(n=311)



実証フィールドの提供や、公共調達の拡大を推進します

都政現場を実証フィールドとして提供し、新たな技術・サービスの信頼性を向上する取組の拡充を図ります。優れた製品を優先的に調達する仕組みを全庁に浸透させるなど、**“ファーストカスタマー”としての公共調達の拡大を推進**します。

ニーズを的確に把握し、世界に打ち勝つ規制改革の実現に向けて取り組みます

日常的な交流を通じて、スタートアップの直面している規制を的確に把握するとともに、東京進出を志す外国人の円滑な起業や働きやすい環境の整備を含め、**幅広い分野の規制改革の実現に向けて取り組みます。**

イノベーションを起こすための“場づくり”に取り組みます

フランスの「Station F」なども参考に、**スタートアップ同士が交流し、VC、アクセラレーター、大学等にも気軽にアクセスできる“場づくり”**に取り組みます。

**Team Tokyo Innovation は、
今後「出島」等で皆様からご意見をいただき、
本日提示した方向性に沿って議論を進めます。**

**そして、スタートアップ協働戦略を
今年11月を目途にバージョンアップします！**

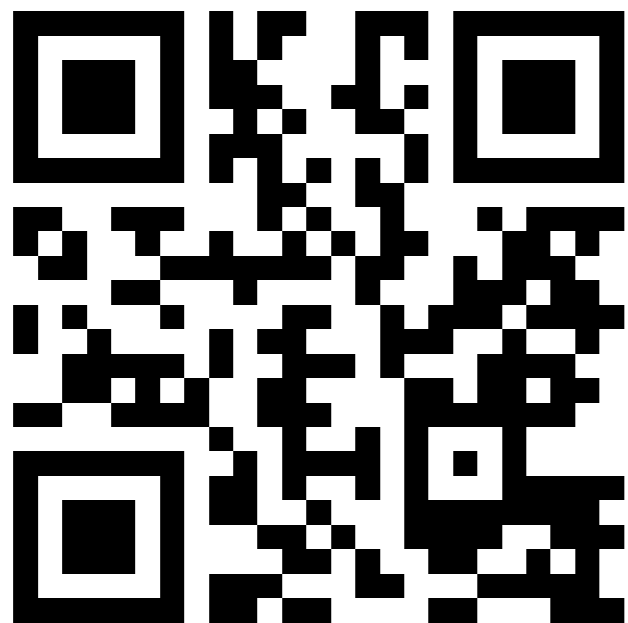
(予定している内容)

- 公共調達の拡大
- イノベーションを起こす“場づくり”
- 規制緩和の促進
- 大学との連携を強化する取組 など

note



#シン・トセイ



ポータルサイト



スタートアップ施策を含めたシン・トセイの取組は、ぜひこちらをご覧ください。